

## 新たなるスタート

私が、同志とともに始めた北海道師範塾も、今年で2年目に入ります。

昨年は、1月に北海道師範塾として初めて「開塾記念講座」を開催し、約80名の方々に参加いただきました。8月には50名弱の参加のもとに「夏期講座」を開催した外、小清水町の方にこちらから出かけて、車座講座を実施することが出来ました。更に11月には、教員採用試験を受験する予定の期限付き教員や学生の皆さんを対象に「教師への道講座」を開設し、現在30名を超える受講生が夢の実現に向けて頑張っています。

今年は、年明け早々の5日、6日の両日にかけて約60名の参加を得て「冬期講座」を行う外、「教師への道講座」の方も1月14日（土）から再開です。

今年は、ほぼ毎月講座を展開することになりますので、昨年とは気持ちも随分と違います。特に、「教師への道講座」については、今年の採用試験で結果がはっきりと見えますので、受講生だけでなく、実施している我々自身も非常に緊張しています。

北海道師範塾は、理事や企画委員、塾生、更には賛助会員の皆さんの力をいただきながら1年が経過しましたが、まだまだ小さな組織に過ぎません。知名度もありませんし、吹けば飛ぶような、というといささか大げさではありますが、自分の力のなさを実感する日々でもあります。

こうした中、少しずつではありますが理事の体制も強化されつつあり、また塾生の数も増えつつありますので、引き続き、じっくりと取り組んでいきたいと思っています。

北海道師範塾は、北海道の教育を少しでも良くしていきたい、教師としての実践力をもっと高めていきたいとの思いを共有する人たちによって構成されています。特に、理事の皆さんは、いずれもそれぞれ仕事を持っており、大変忙しい日々の中、積極的に北海道師範塾を運営していただいています。彼らのボランティア精神には頭が下がりますが、それを支えているのは、子ども達のために北海道の教育をもっと活性化させたい、という熱い思いに外なりません。

北海道師範塾の活動の根本は、「共に学び、共に成長」しようというところ

にあります。今のままで良い、こんなもんで仕方ない、と思っている限り成長は望めません。

私は、教師の皆さんには、教師となった以上、子ども達のために成長し続ける存在であって欲しいと願っています。そのためには、一人でも多くの仲間が手を取り合い、学び合うことが重要であり、北海道師範塾は、そのための場となることを目指しているのです。

北海道師範塾は2年目に入りましたが、この活動は、理事だけではなく、塾生として参加してくださる方がいてはじめて成立するものです。私たち師範塾関係者は、これまでも試行錯誤を重ねながら活動して来ましたが、今後とも、一人でも多くの方々の参加が得られるよう、背伸びせず、着実に前に向かって取組を進めて行きたいと思っています。(塾頭 吉田 洋一)